

STOP! 熱中症

7～8月は重点取組期間

令和3年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、全国では毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。また、長野県内の職場でも、熱中症の発生は7～8月に多く、4日以上仕事を休む人は多い年で20人近くにのぼり、なかには亡くなる方もいます。

そこで、長野労働局では労働災害防止団体などと連携して、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。各事業場でも、事業者、労働者の皆さまのご協力のもと、熱中症予防に取り組みましょう!

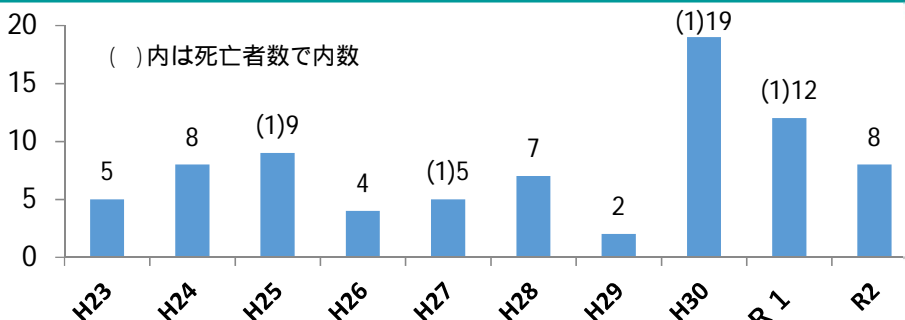
今年も、新型コロナウイルス感染症予防の一環として、マスクの着用や外出自粛等の取組がなされています。このため、熱中症に罹りやすい状況となっていますので、特に注意が必要です。

実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、長野局における重点取組期間7～8月）

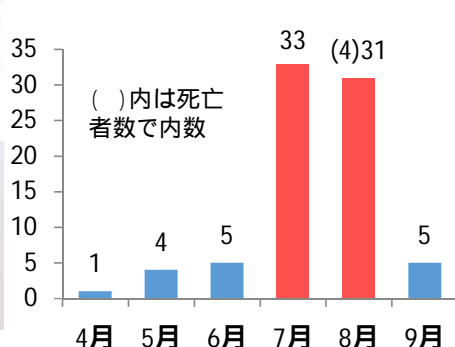


長野県内における熱中症の発生状況

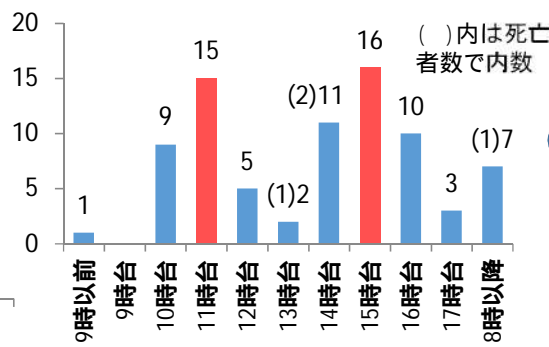
ご安全に!!!



熱中症の発生状況の推移(休業4日以上、単位:人)



熱中症の月別発生状況(平成23年～令和2年)



熱中症の時間帯別発生状況(平成23年～令和2年)



迷わず救急車を呼びましょう!



裏面の にチェックを入れ、実施事項の取組状況を確認しましょう!

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

注意

新型コロナウイルス感染症対策の影響で、熱中症に罹りやすい状況です。
 ・マスクの着用により、熱がこもりやすく、また、水分不足を感知しにくくなります。
 ・外出自粛要請の影響で、熱への順化が十分にできていないことがあります。
 このため、十分な**水分補給**や**熱への順化**には特に注意が必要です。

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）



STEP 1

WBGT値の把握

JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

WBGT値を下げるための設備の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。				WBGT指数計の例
休憩場所の整備	休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。				
通気性の良い服装など	準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。				
作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。				
熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！				
水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。				
プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。				
健康診断結果に基づく措置	糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係の疾患、広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。				
日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。				
労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。				

STEP 3

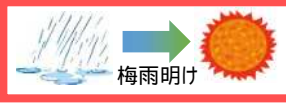
熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- WBGT値の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせなくてよいか

異常時の措置
 ~少しでも異変を感じたら~

- ・ **いったん作業を離れる**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

長野労働局における重点取組期間（7月1日～8月31日）



実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。水分、塩分を積極的に取りましょう。
 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。

